

・江戸からの人間を描いた
伝統的川柳

町内で知らぬは
高亭主ばかりなり
(サラリーマン川柳など
ニミコ入る)

・時事川柳
(ニースをきったリ)

社保方で
行方不明になる老後

・明治以降の文芸としての
現代川柳

(自この内面を
吐露しようがもの)

「サラリーマン川柳」
とかああいう
笑えるものの
イメージでしたー

孝への
グキとかのやー

そう思われがち
なんだけどねー

川柳は主に3種類あって

そうなんですか？

例えば芭蕉の
古池や
蛙とびこむ
水の音

の句を読んだ人は

はー
芭蕉先生は
そういうことに
感動された
のねー

と立派な先生の感動の
おこぼれをいただくが

へーそれで
季語が
あると俳句
なんですか？

形式よりも
内容的な
違いの方が
大きいと
思いますね

「こけい
とか
つけたり

川柳は読者が中心になって
共感する文芸なんです

そうかー

だから
「そういうの
あるある！」
って笑えたりも
するんですね

あるある
ネタだ

川柳は
作者のわからない
孝行の
したい時分に
親はなし
という句に
うんうん
わかるー

と読者が共感する

だよなー

一つだけ豆知識

「川柳」は250年前に
川柳が始まるきっかけと
なった人物の名前です

榎場や
学校などで
うんちくをたれろ
時に使ったわー

柄#川柳
前句附という遊びの読者

二ミからまだまだ
字が多いけど
みんな頑張ってる！

ほんとに
川柳の歴史の
話からすると
川柳がどうい
ものなのかも
わかるのですが

おもしろい話
なんだけどもー

この説明の
字が多い！

ハンストップおヨメ道



